

地域で学び地域と育つ神山校～中山間地の地域内循環モデルの構築～

これまでの取組

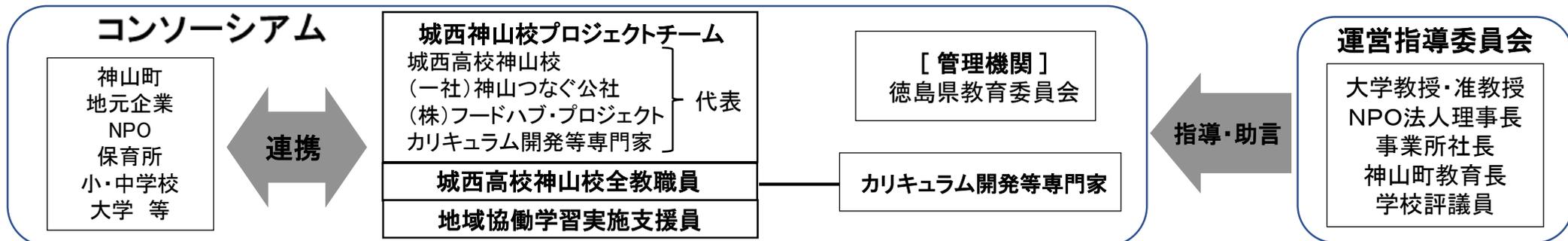
- ・ 保小中高連携（防災教育，食育，木育）
- ・ 地域連携（神山創造学，課題研究，高齢者支援）
- ・ IT活用と情報発信（民間企業との映像制作）
- ・ 産業の担い手育成（ファブラボを活用した部活動）

成果

- ・ 高校・町役場・地場企業の連携体制を構築
- ・ 多様な年代，人との交流
- ・ 地域社会の課題を解決
- ・ 町による通学費や住まいのサポート

課題

- ・ 学習内容と進路先とのギャップ
- ・ 6次産業化のための施設整備
- ・ 町内就職先の開拓



令和2年度の目標

【対教員】

- 1 地域との協働による学習の質を高めるため，各研究開発の内容を教育課程に落とし込み，カリキュラム・マネジメントを行う。
- 2 生徒自身が育成したい力を理解し，自律的なキャリアデザインができるようグランドデザインを作成するとともに周知を図る。

【対コンソーシアム】

- 1 会議体を中心に，神山校の現状と課題を共有し方策を考える場とする。
- 2 構成員と教職員等が意見を交え，学びの質向上となる場を構築する。

取組状況

【研究開発の内容】

- 1 「神山創造学」の再構築
- 2 地域性を生かした質の高い教育環境の整備
- 3 地域の生産・交流拠点の創出
- 4 地域を学びの場とした実践

【対教員】

- 1 「神山創造学」と「課題研究」の効果的接続についての実践。
- 2 育てたい力や学びのシステムを明確化したグランドデザインの研究。

【対コンソーシアム】

- 1 オープンスクールや課題研究発表会に合わせて開催し，学校の様子を知る機会とする。
- 2 進捗状況に即して分科会テーマを設定し，テーマに応じたメンバーを配置する。

成果と課題

【成果】

- 1 耕作放棄地の有効活用プロジェクトを推進し，中山間地における地域連携モデルの開発に着手することができた。
- 2 「課題研究」でのキャリアデザインについて取り組み，研究内容に沿った進路実現を行う生徒が増加した。
- 3 自分たちの取り組みが地域貢献につながっていると感じる生徒が増加し，地域との協働の効果が表れてきた。
- 4 生徒や保護者，入学希望者に向けて，「育てたい力」と教育課程との関係を分かりやすく示したグランドデザインの作成を通して，教職員の共通理解が進んだ。

【課題】

- 3 事業終了後のコンソーシアム構想を立て，協働体制を継続していくコミュニティスクールの推進を行う必要がある。
- 2 「育てたい力」を基に各教科ごとのルーブリック作成を行い，成績評価へ反映させるシステム作りに取り組む。
- 3 生徒のキャリア意識向上に向けた取り組みを継続させつつ，多様な進路実現に向けた活動を進める。